

## 2020－2021 第3回中部評議会（ONLINE）議事録



2021年2月27日（土）15:30～17:45

会 場 各自宅等にてZOOM会議

- ① 開会宣言・点鐘
- ② ワイズソング
- ③ 開会の祈り
- ④ 開会挨拶

進行 中部書記 荒川恭次  
 中部部長 早川政人

南山クラブ 荒川文門  
 中部部長 早川政人

新年度発足から8か月を経過するが、新型コロナ禍が収まらない中で活動が思うようにできない。あと数か月を残すだけですが出来ることがあれば積極的に取り組みたい。愛知県の緊急事態宣言も解消されるとのことであるが、早くワクチンを打って少しでも早く皆さんと対面できることを祈るばかりです。

- ⑤ 評議会定数確認 中部書記 荒川恭次  
 算定出席総数17名、出席者数12名、委任状提出3名、合計15名により成立。出欠者は別紙参加者一覧表のとおり。
- ⑥ 議長選出（中部部則第9条3項）議長は部長が務める 中部書記 荒川恭次
- ⑦ 議長挨拶 中部部長 早川政人
- ⑧ 議案・協議

1.（確認）第2回評議会の議事録について  
 特段の意見もなく内容確認された。

2.（第1号議案）2021-2022 中部主査の選出について

次期渡辺中部部長より提案のあった2021-22年度中部主査は満場一致で承認された。併せて次期会長の紹介がされた。

### 2021-2022 中部主査

Yサ・ユース事業主査・・・・・・坂口功祐（名古屋グランパス）  
 地域奉仕・環境事業主査・・・・・・清水 淳（とやま）  
 EMC事業主査・・・・・・太田全哉（名古屋東海）  
 国際・交流事業主査・・・・・・平野実郎（名古屋）  
 メネット事業主査・・・・・・数澤淑子（金 沢）

### 2021-2022 中部各クラブ会長

金沢クラブ：山内ミハル	名古屋クラブ：平野実郎
東海クラブ：山田英次	南山クラブ：荒川文門
グランパス：服部庄三	とやまクラブ：清水 淳

3. (第1号協議) 2022-2023 中部部長選出とホストクラブについて

2022-23年度の中部部長は、北陸方面からの選出となるが、とやまクラブとしては、部長を引受けるクラブになる必要はあるが、現状スタッフ不足もあり部長を引受ける段階ではない。次期の会長を育てて体制構築を図りたい。また、金沢クラブは平均年齢が上がり、入院者等体調不良の者が複数いるため部長+キャビネット選出、部会開催は負担がある。しかし、1クラブ単独体制ではなく名古屋方面クラブとの協働体制もあるので、第4回評議会までに詰めて2022-23年度中部部長体制を決め承認を得ることとする。

4. (第2号協議) 西日本区理事等支援基金について

過去の理事経費のサポート経緯等を説明したうえで、理事、理事キャビネットを支援する提案におおむね賛成の意向を得た。細則の具体的な金額等は早めに決めるとして今後各クラブで協議のうえ、4月下旬開催予定の会長・主査会で各クラブ意見を集約、金額等具体的な数値を決めて、5月開催予定の第4回中部評議会で議案提出し承認を得ることとする。

5. (第3号協議) 中部会計の基金への支援について

第2号協議関連案件であるがおおむね賛成意向を得た。前項目と同様に各クラブに持ち帰って協議し、4月下旬開催予定の会長・主査会で各クラブの意見を集約し、金額等具体的な数値を決めて、5月開催予定の第4回中部評議会で議案提出し承認を得ることとする。

⑨ 事業主査・各クラブ会長現況報告 (クラブ会長・各事業主査)

1. 金沢クラブ:

金沢は新型コロナ感染者数は少ないが、感染経路不明者が増えている。しかし、例会は1月を除いて欠かすことなく行っている。2月例会だけは食事なしとした。クラブ内で体調不良により入退院される者が出ている。2名の入会予定者があったが諸事情により叶わなくなった。

2. 名古屋クラブ:

特別メネットが1名退会となった。昨年度後半より例会はハイブリットで開催してきた。予定した活動も中止が相次いだ。1月例会は完全リモートで愛知のちの電話事務局長の加藤氏による卓話を開催した。ZOOM開催のためインドを含む各方面より参加者があった。3月はグランパスとの合同例会で、仙台YMCA総主事の村井さんより、「あの日から未来へ、昔のままの未来に向かって」の卓話を受ける。中部共催ですので参加されたい。DBC交流会もZOOM開催予定。

3. 東海クラブ:

12月~2月の第一例会は中止となった。個々のメンバーとはメール連絡できている。次期体制作りは早めに取り組んでいる。現会長がやる気満々であったが新型コロナ禍によりやる気を削がれてしまった感があるが、クラブ発展に向けて次に繋げていただければと思う。(橋爪会長代行)

#### 4. 南山クラブ：

1月2月は活動できていない。クラブの今後についても進んでいない。3月開催の会長・主査研修会までには何らかの結論が出せればと思っている。3月には緊急事態宣言も解除の予定なのでYMC Aでの例会ができる予定である。

#### 5. 名古屋グランパスクラブ：

クリスマス例会は広い会場で集合開催した。後の例会は第一第二例会共に全てZOOMで開催した。出席率も高く効果は出ている。3月は名古屋クラブとの合同例会で、これまで行ってきた東日本大震災支援の関わりに関係する卓話を村井総主事から聞く予定である。また新入会員として原さんの入会式を執り行う。3月開催のリーダー感謝会では記念品を贈る予定。日本語学院へはマスク・体温計・消毒液等の支援を行っているが、今回セカンドハーベストより食料提供を受けて支援できた。(高田会長代行)

#### 6. 津クラブ：

例会は定期的には開催できない状況である。年末年始のディケア施設でクリスマス会を開催した。1月に例年行う餅つき大会は、今年は新型コロナ禍の影響で開催叶わずもち米の提供のみとなった。津クラブは今年度をもって閉じる計画である。クラブの中心的人物が闘病生活に入り継続が難しい状況となった。クラブ閉鎖の準備入る予定である。致し方ない状況であることをご理解いただきたい。

#### 7. とやまクラブ：

1月は大雪のため例会は中止したがそれ以外は順調である。11月3日は例年通りファミリーバザーを開催した。参加人数は減ったが収益は増えた。2月14日に災害支援活動研修会を開催。熊本YMC A副総主事の神保さんより熊本地震等災害支援の話聞いた。YMC Aとワイズの共催であった。今後はYMC Aとワイズの協働開催イベントをどんどん行っていきたい。ユースリーダーを対象にFridays For Futureとして話合いの場を設けクラブで支援する。SDGSに対する理解を深める研修を計画中である。

#### 8. Yサ・ユース主査：

昨年10月9日に事業主任とのZOOMによる会議を持ったが、顔合わせと主任からの説明に終始した。事業通信も未だ発行されていない。新型コロナ禍の影響で各部ともにYMC Aとの活動報告が特に無いようである。

#### 9. メネット主査：

特に報告すべき事はない。中部でメネット会があるのは金沢クラブと名古屋クラブだけである。金沢クラブは例年毎月メネット会のプログラムを開催しているが、今年は何もできていないが、10月下旬に芋煮会を開催した。ひとり親家庭の親子を招待して開催した。16名の参加者があった。各クラブからの活動報告を待っています。

10. ワイズ起し運動について：

各クラブ会員増強運動で頑張ってください。

⑩ その他報告・連絡事項

1. 第4回評議会の開催時期について

5月に次期への引継ぎを兼ねて開催計画する。詳細は別途お知らせする。

2. クラブ公式訪問について

金沢クラブは3月18日、とやまクラブは5月10日に計画、津クラブは別途相談

3. 部報の発行について

部則通り年2回の発行を目指す。

4. その他

渡辺次期部長より

(1) 戸田次期会計の紹介

(2) 次期会長・主査研修会テキストは中部で一括購入願いたい。

(3) 来期の部会日程は9月11日（土）、会場：日和田キャンプ場

(4) 来期EMCシンポジウムは、次期主査とワイズ起し委員長と計画する。

⑬ 監事講評

中部監事 柴田洋治郎

1号協議～3号協議は早く結論を導かれるよう進められたい。

⑭ 閉会の祈り

直前監事 山内ミハル

⑮ YMCAの歌

⑯ 閉会点鐘

中部部長 早川政人

⑰ 閉会

以上